

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	下水道河川課 担当課長 田邊 由洋
都整-27 管渠維持管理費(特別会計)		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 下水道河川課 関連課 浄化センター、作業センター、道水路管理課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針
			下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	既存管路施設の機能維持を図り、流入汚水の処理を継続して、適正な施設機能の維持管理を行うため。
効果	既存管路施設及び汚水送水施設の機能維持と延命を図る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・管路施設内の堆積物の除去、伏越箇所の浮遊物・堆積物の除去・清掃や、蓋の不具合による振動・騒音の解消及び道路陥没の原因となる破損した取付管等の修繕や布設替えを行なった。</li> <li>・私設下水道修繕等の支援補助を行い、下水道事業として水質保全及び維持管理の向上を図った。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	177,464人	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数					
運営資源状況	当初予算(千円)	82,198	決算値(千円)	72,446	
	国県支出金	0	国県支出金		
	地方債	0	地方債		
	その他	78,088	その他	69,048	
	一般財源	4,110	一般財源	3,398	
事業経費運営	人員配置数	2.1	人員配置数	2.1	
	人件費(千円)	16,417	人件費(千円)	16,110	
	総事業費(千円)	98,615	総事業費(千円)	88,556	
	市民1人当りの経費(円)	556	市民1人当りの経費(円)	499	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅団地等の老朽化が進んでいる汚水樹や取付管に木根が侵入して、下水が円滑に流れなくなる事例が増えている。</li> <li>・下水道施設の標準耐用年数50年を越す施設が急速に増える状況で、適切な維持管理や十分な実態調査を実施する。</li> </ul>	
課題解決のために行った平成26年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休日等を含む緊急時の対応については、作業センター及び委託業者と連携を図りながら実施した。</li> <li>・6月の大雨や台風18号で、本管が雨水の浸入で満管となり宅内へ汚水が逆流した箇所に、逆止弁を設置する対策を実施した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築造後50年を越す下水道施設や耐用年数を経過した蓋等の修繕や交換等の老朽化や長寿命化対策が十分にできていない。</li> <li>・台帳や管理履歴などが電子化されていないことで、施設の状態を一元的に把握することが困難な状況である。</li> </ul>	
効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー
	事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	見直し内容の理由 ・管理延長は整備に伴い毎年増加しているが、管渠施設の清掃浚渫等の委託料は、この3年間は、必要最低限の延長や回数を維持しているのが現状であり、老朽化が増えていく中で、適切な維持管理が困難となる。
総 評	定期的に清掃・浚渫している以外にも、管渠の閉塞等で作業を実施する箇所があり、事後保全型の対応となっている。また、管渠の老朽化が進んでいる旧市街地や大規模住宅団地の下水道施設では、重大な事故は確認されていないが、平成27年度に策定する「社会基盤施設マネジメント計画」で一層の業務の効率化を目指し、より適正な維持管理を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	管渠維持管理費(百万円) H26版神奈川県の下水道事業 平成25年度末現在								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	218	550	231	220	119	465	8	52	6
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県がまとめている資料から、管渠の維持管理費の比較とした。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	管渠浚渫延長						単位	km	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	場所によって年間、1~6回実施している。			
目標値は、小町通や仲通など、定期的に管内の浚渫を実施している年間の予定延長で、最低限の数量と判断している。	目標値	21.2	21.2	21.2	21.2	21.2	21.2				
	実績値	26.5									
	達成率	125.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	飲食店などが多く、油分が多く流れる箇所などの定期的な清掃・浚渫は、管の閉塞事故を未然に防ぐ観点から重要な維持管理業務である。現在、定期的に行っている箇所や回数は、約500kmある管渠延長の4%程度で、今後も老朽化が進む管渠が増加することから、必要な延長は増えることが予想されるが、当面は定期的な箇所について、予算から現状維持とした。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--